

「日医標準レセプトソフト」

ORCA Project

システムパッケージリリース情報 【Version 5.1.0】

2019 年 10 月 28 日

日本医師会 O R C A 管理機構

改訂内容

2018 年 12 月 20 日 初版

2019 年 1 月 16 日 1-1 (6) API の削除についてを追加

5 その他 5-1 API の削除を追加

2019 年 5 月 21 日 1-4 (6) ORCA プロジェクト・センターサーバ更新による特別処理をします。を追加

5 その他 5-2 マスタデータ移行処理結果の確認を追加

2019 年 10 月 28 日 1-10 (3) マスタデータ移行処理を実行します中のコマンドを変更

1 パッケージリリースについて

1-1 注意事項

(1) アップグレード前の作業について

このパッケージへアップグレードするとマスタ分離対応により、マスタデータ移行処理を行うことになります。

アップグレードを行う前には、最新の状態（プログラム更新、マスタ更新）を行ってください。

(2) データベースのバックアップについて

このパッケージへアップグレードするとデータベースの変更が行われます。

アップグレードを行う前には必ずデータベースのバックアップを行い、エラーが発生していないことを確認してください。

アップグレード中にエラーが発生した場合に、アップグレード前のバックアップが正常に行われていない場合は修復不可能となります。

また、グループ診療のためデータベース変更では、システム管理に記録されている医療機関 ID（アップグレード処理日に有効なもの）と異なる医療機関 ID を持つ行を無条件に削除します。

よって、アップグレードは正常に終了しても、システム管理に想定を超えた内容の登録があった場合、すべて行削除される可能性もあります。この場合もバックアップが正常に行われていない場合は修復不可能となります。

このような状態にあっては、サポートセンターへ問い合わせをされても、サポートの対象とは認めませんので悪しからずご了承ください。

(3) dbs 等コマンドの廃止について

ミドルウェア (panda) より提供していた dbx コマンドを廃止しました。

dbx を使用している場合は見直しをする必要があります。

- ・ **レセ電ビューア** ・ 接続設定の見直しを行ってください。
- ・ **医見書・給管鳥** ・ 日レセとの連携ができなくなります。

その他の廃止したコマンドは以下となります。

dbmaster

dbslave

dblog

(4) 処理時間について

パッケージアップグレードによりテーブルの構造変更を行います。

変更を行うテーブル数も多いうえに対象のテーブルに格納されている行数が多い場合は、マシンの性能（スペック）にもよりますがかなり処理時間がかかると予想されますのでバージョンアップの計画を立てて行うようにしてください。

お昼の休憩時間等にパッケージアップグレードを行うということは避けていただいた方が無難です。業務に支障をきたさない時間帯に余裕をもって行ってください。

(5) 画面解像度について

Ubuntu 18.04 で画面解像度が XGA(1024×768) の場合、glclient2 から接続すると、日レセ業務画面全体が表示できません。画面解像度を再設定してください。

(6) API の削除について

サポート対象外の API について、当パッケージで削除しました。詳細は、「5-1 API の削除」を参照してください。

1-2 日レセパッケージ

バージョン 5.1.0

対応 OS

- ・ Ubuntu 18.04 LTS(Bionic Beaver) 64bit
- ・ Ubuntu 16.04 LTS(Xenial Xerus) 64bit

1-3 クリーン・インストール

公式ホームページの「日医標準レセプトソフトのダウンロード・インストール」をご参照ください。

(1) Ubuntu 18.04 LTS(Bionic Beaver) 版

以下のページをご参照ください。

<http://www.orca.med.or.jp/receipt/download/bionic/>

(2) Ubuntu 16.04 LTS(Xenial Xerus) 版

以下のページをご参照ください。

<http://www.orca.med.or.jp/receipt/download/xenial/>

1-4 アップグレード・インストール

アップグレード方法について説明します。

※Ubuntu 16.04 LTS(Xenial Xerus) 版の場合を主な例とします。

- (1) データベースをバックアップします。
アップグレードの前には必ずデータベースのバックアップを行ってください。
バックアップの方法

```
$ sudo -u orca pg_dump -Fc orca > (バックアップファイル名)
```

- (2) スキーマチェックを行います。
現在のデータベースの状態をチェックします。
最新のチェックファイルによりチェック処理を行うため以下の方法により処理を行います。

```
$ wget http://ftp.orca.med.or.jp/pub/etc/jma-receipt-dbscmchk.tgz
$ tar xvzf jma-receipt-dbscmchk.tgz
$ cd jma-receipt-dbscmchk
$ sudo bash jma-receipt-dbscmchk.sh
```

処理が終了したらメッセージが表示されます。作業ディレクトリ
(jma-receipt-dbscmchk/)に jma-receipt-dbscmchk.log というファイルが作成されます。
ファイルの内容を確認してください。
整合性に問題なしと出ればスキーマは問題ありません。

- (3) apt-line の追加をします。
日レセパッケージを取得するための apt-line を追加します。
[bionic の場合]
apt-line の設定ファイル(jma-receipt-bionic51.list)を公式ウェブサイトから取得し、/etc/apt/sources.list.d 以下に配置します。

[xenial の場合]
apt-line の設定ファイル(jma-receipt-xenial51.list)を公式ウェブサイトから取得し、/etc/apt/sources.list.d 以下に配置します。

```
$ sudo wget -q -O ¥
/etc/apt/sources.list.d/jma-receipt-xenial51.list ¥
http://ftp.orca.med.or.jp/pub/ubuntu/jma-receipt-xenial51.list
```

- (4) パッケージをダウンロードします。

```
$ sudo apt-get update
$ sudo apt-get dist-upgrade -dy
```

ダウンロード中に中断されたなどエラーが発生していないことを確認します。エラーが発生し終了した場合は再度ダウンロードを行います。

- (5) アップグレードします。

```
$ sudo apt-get install jma-receipt
$ sudo apt-get dist-upgrade
```

(6) ORCA プロジェクト・センターサーバ更新による特別処理をします。

```
$ wget http://ftp.orca.med.or.jp/pub/etc/install_modules_for_ftp.tgz
$ tar xvzf install_modules_for_ftp.tgz
$ cd install_modules_for_ftp
$ sudo -u orca ./install_modules.sh
```

ERROR の表示がないことを確認します。

処理後にダウンロードしたファイル、install_modules_for_ftp ディレクトリは削除しても構いません。

1-5 データベースセットアップ処理

- (1) 既存のデータベースのエンコーディングが UTF-8 の場合は設定ファイルを作成します。
「 /etc/jma-receipt/db.conf 」というファイルを以下の内容で作成します。

```
DBENCODING="UTF-8"
```

注意

セットアップ処理スクリプトでは、データベースエンコーディングのデフォルトを EUC-JP とします。

既存データベースのエンコーディングが UTF-8 の場合は、設定ファイル作成は必須となります。

- (2) コマンドを実行します。

```
$ sudo jma-setup
```

1-6 日レセの起動

データベースセットアップ処理が終了しても日レセは自動で起動しませんので、以下のコマンドで起動します。

```
$ sudo systemctl start jma-receipt
```

留意事項

systemd により処理メッセージが表示されませんので、以下のコマンドで確認ができます。

```
$ journalctl -xe -u jma-receipt
```

また、パッケージインストール後、最初の起動時には起動しない場合があります。一度停止コマンドを入力してから起動コマンドを入力してください。

```
$ sudo systemctl stop jma-receipt
```

```
$ sudo systemctl start jma-receipt
```

1-7 アップグレード後の初期画面

日レセが起動したらクライアントアプリケーションから日レセへ接続します。

画面中央に赤字で「マスタデータ移行処理が未実施です。管理者まで連絡してください」とメッセージが表示されます。

これは、後で説明しますマスタデータ移行処理が実施されていないために表示されますので、ここでは無視して次へ進みます。

1-8 プログラム更新処理

プログラムの緊急修正情報があるか確認を行ってください。

緊急修正情報がある場合は、必ず業務メニュー画面より「プログラム更新」を行ってください。

1-9 データベーススキーマ変更の確認について

業務メニューからの「92 マスタ更新」を選択するとデータベースの構造バージョンを確認できます。

正常にアップグレード（インストール）が完了すると「構造 ver（自）」及び「構造 ver（ORCA）」の表示は次のようになります。

「S-050100-1-20181114-1」 ※平成 30 年 12 月 20 日現在

また、/var/log/jma-receipt/orca-db-install-5.1.0.log というファイルが作成されますので“ERROR”という文字が含まれていないか確認します。

```
$ grep ERROR /var/log/jma-receipt/orca-db-install-5.1.0.log
```

さらに、スキーマチェックを行います。

```
$ cd jma-receipt-dbscmchk  
$ sudo bash jma-receipt-dbscmchk.sh
```

不整合が発生していないことを確認します。

1-10 マスタデータの移行処理について

パッケージをアップグレード後には、必ずマスタデータの移行処理を行います。

点数、チェック、一般老人置換、保険者、住所の各マスタは、ユーザーにより変更が可能です。5.1.0 からはユーザーが変更したマスタコードについては、ユーザーが管理するということになります。よって、マスタデータの移行処理により、アップグレード前にユーザーが変更した内容を抽出し、ユーザー管理用として登録します。

この処理では、アップグレード前のマスタと標準提供マスタの突き合わせを行います。よって、jma-setup により各マスタは標準提供データがセットアップされます。

(1) アクセスキーの設定を確認します。

この処理では、ライセンスマスタである保険者マスタも該当しますので、必ずアクセスキーが必要になります。「92 マスタ更新」からマスタ更新管理一覧画にて「キー取得」ボタンが表示されている場合は、アクセスキーが未設定ですので設定をします。

(2) 保険者マスタ（標準提供）をツールにより、より最新の状態に更新します。

```
$ wget http://ftp.orca.med.or.jp/pub/etc/tools/jma-master-setup.tgz
$ tar xvfz jma-master-setup.tgz
$ cd jma-master-setup
$ sudo -u orca ./jma-master-setup -r -m 9 1
```

※オプションの最後は医療機関識別番号です
グループ診療構成の場合は、登録されている医療機関識別番号分をすべて実行します。

(3) マスタデータ移行処理を実行します。

グループ診療構成の場合は、医療機関の数にもよりますが少々時間がかかります。

```
$ sudo /usr/lib/jma-receipt/patch-lib/scripts/tools/jma-migrate
```

※2019 年 10 月 28 日提供 パッチ提供（第 15 回）が適用されていること。

留意事項

処理中に「overflow on numeric ABS(value) >= 10⁵ for field with precision 10 scale 5 maxweight = 5, i=0, var->ndigits=6」と出力する場合がありますが、エラーではありませんので無視してください。

(4) 処理結果を確認します。

/var/log/jma-receipt/(hospnum)ORCBMIG(yyyy)-prf.csv のようなファイルが作成されますので確認します。 ※(hospnum) 及び(yyyy)の部分は以下で説明

(hospnum)は、システム上の医療機関を識別する番号で通常は 01 です。グループ診療構成の場合は、02 以上が有り得ます。

(yyyy)は、各マスタを表す名称となります。

点数 : ORCBMIG**T**ENSU-prf.csv
 チェック : ORCBMIG**C**HK-prf.csv
 一般老人置換 : ORCBMIG**S**RY**C**D**C**HG-prf.csv
 保険者 : ORCBMIG**H**KN**J**A**I**N**F**-prf.csv
 住所 : ORCBMIG**A**DRS-prf.csv

※5-2 マスタデータ移行処理結果の確認を参照してください。

1-11 マスタ更新データの提供について

パッケージをアップグレードしただけでは各種マスタは更新されません。必ず業務メニュー画面より「92 マスタ更新」を行ってください。

業務メニュー画面の「92 マスタ更新」を選択しマスタ更新管理一覧画面より「更新」ボタン(F12 キー)を選択すると更新処理を開始します。

提供されているマスタ更新データの最新情報は公式ホームページあるいは業務メニュー画面の新着情報をご確認ください。

マスタ更新処理プログラムは、/var/lib/jma-receipt/master/01/orca-mstlog/ にログを書き出します。拡張子が ERR というファイルが空(0 バイト)でない場合は、対となるファイル名の拡張子 PRF というファイルの内容を確認します。

(/var/lib/jma-receipt/master/01/orca-mstlog/ の 01 は医療機関識別番号です。)

2 Version5.0.0 に対する修正プログラム提供内容

Version5.0.0 システムに適用させるため提供した修正プログラムについては、すべて当該バージョンに含まれています。提供したプログラムの修正内容については、公式ホームページあるいは業務メニュー画面の新着情報をご確認ください。

3 クライアントアプリケーションについて

3-1 利用可能なクライアントアプリケーション

バージョン 5.1.0 リリース版で利用可能なクライアントは以下となります。

- ・ glclient2
panda-client2 1:3.0.0+p7 以降
- ・ monsiaj
2.0.11 版以降
(<http://ftp.orca.med.or.jp/pub/java-client2/monsiaj-bin-2.0.11.zip>)

4 データベースの変更について

4-1 新設スキーマ

マスタ更新対象のテーブルの中でユーザーメンテナンスが可能なテーブルを一部移動しました。

この対応として public スキーマに今までと同様のテーブル名で view（ビュー）を作成しています。

4-2 変更テーブル一覧

点数付加	TBL_TENSUPPLUS	項目追加
ジョブ管理情報	TBL_JOBKANRI	項目追加

4-3 新設テーブル一覧

住所	master.TBL_ADRS_MASTER
チェック	master.TBL_CHK_MASTER
保険者	master.TBL_HKNJAINF_MASTER
一般老人置換	master.TBL_SRYCDCHG_MASTER
点数	master.TBL_TENSU_MASTER
ユーザー住所	public.TBL_ADRS_USER
ユーザーチェック	public.TBL_CHK_USER
ユーザー保険者	public.TBL_HKNJAINF_USER
ユーザー一般老人置換	public.TBL_SRYCDCHG_USER
点数金額	public.TBL_TENSU_PRICE
ユーザー点数	public.TBL_TENSU_USER

4-4 テーブルスキーマ変更における周辺システムとの連携について

カラムの追加やカラムのデータ型を変更しているテーブルがいくつかあります。

日レセと連携を行う周辺システムをご使用の場合は、アップグレードする前に十分に動作確認等を行ってください。

特に ODBC 経由等でデータベースへアクセスされている場合はご注意ください。

5 その他

5-1 API の削除

バージョン 4.8.0 以降でサポート対象外とした API について、当パッケージでは削除しました。

削除した API は以下のとおりです。

削除した API を使用している場合は、移行先 API に変更が必要となります。

削除 API	移行先 API	内容
/api01r/acceptlst	/api01rv2/acceptlstv2	受付一覧取得
/orca11/acceptmod	/orca11/acceptmodv2	受付登録
/api01r/appointlst	/api01rv2/appointlstv2	予約一覧取得
/orca14/appointmod	/orca14/appointmodv2	予約登録
/api01r/diseaseget	/api01rv2/diseasegetv2	患者病名情報取得
/api01r/medicalget	/api01rv2/medicalgetv2	中途終了患者情報一覧取得
/api21/medicalmod	/api21/medicalmodv2	中途終了データ登録
/orca102/medicationmod	/orca102/medicationmodv2	点数マスタ情報登録
/api01r/patientget	/api01rv2/patientgetv2	患者基本情報取得
/api01r/patientlst1	/api01rv2/patientlst1v2	患者番号一覧取得
/api01r/patientlst2	/api01rv2/patientlst2v2	複数患者情報取得
/api01r/patientlst3	/api01rv2/patientlst3v2	患者情報取得(氏名検索)
/orca12/patientmod	/orca12/patientmodv2	患者登録
/api01r/system01lst	/api01rv2/system01lstv2	システム管理情報取得

5-2 マスタデータ移行処理結果の確認

5-2-1 方法①

(M00)マスターメニュー - 医療法人 オルカモクリニック [ormaster]

01 医事業務

03 プログラム更新

日レセから自動送信による地域マップを日本医師会ホームページにて公開中です。ご協力ください。

F 4 キー（調査協力ボタン）で参加登録をお願いします。

標準提供マスタ 最終更新日 H31. 3. 7
マスタ更新は正常に終了しました。
ライセンスマスタ 最終更新日 H31. 3. 7
マスタ更新は正常に終了しました。

「日医標準レセプトソフト Version 5.1.0」
Copyright(C) 2002 社団法人日本医師会
このソフトウェアは「日医オープンソース使用許諾契約」の下に公開されたものです。
上記使用許諾契約をお読み頂き、必ず同意の上ご利用ください。
上記使用許諾契約は、下の「情報」ボタンを押すことで表示されます。

選択番号

終了 調査協力 バッチログ 環境設定 **診療情報** (まとめ) ユーザ管理 情報

(1) 「診療情報」ボタンをクリックします。

(XG04)CSV出力選択画面 - 医療法人 オルカモクリニック [ormaster]

番号	グループ	処理番号	連番	件数	診療年月	診療年月日	入外	処理タイトル	データ内容	未
1	20190307104000	0001	0001	119		H31. 3. 7		マスタデータ移行	点数マスタ	未
2	"	0001	0002	177		H31. 3. 7		マスタデータ移行	チェックマスタ	未
3	"	0001	0003	6		H31. 3. 7		マスタデータ移行	一般老人置換マスタ	未
4	"	0001	0004	0		H31. 3. 7		マスタデータ移行	保険者マスタ	未
5	"	0001	0005	0		H31. 3. 7		マスタデータ移行	住所マスタ	未

選択番号 グループ 処理番号 連番

戻る クリア 削除 **データ切替** 処理結果 情報削除 処理開始

(2) 「処理タイトル」欄が、「マスタデータ移行」と表示される画面を出します。
別の表示の場合は、「データ切替」ボタンをクリックして内容を確認します。

(XG04)CSV出力選択画面 - 医療法人 オルカモクリニック [ormaster]

番号	グループ	処理番号	連番	件数	診療年月	診療年月日	入外	処理タイトル	データ内容	未
1	20190307104000	0001	0001	119		H31. 3. 7		マスタデータ移行	点数マスタ	未
2	"	0001	0002	177		H31. 3. 7		マスタデータ移行	チェックマスタ	未
3	"	0001	0003	6		H31. 3. 7		マスタデータ移行	一般老人置換マスタ	未
4	"	0001	0004	0		H31. 3. 7		マスタデータ移行	保険者マスタ	未
5	"	0001	0005	0		H31. 3. 7		マスタデータ移行	住所マスタ	未

選択番号: 1 グループ: 20190307104000 処理番号: 1 連番: 1

戻る クリア 削除 データ切替 情報削除 処理開始

(3) 「データ内容」欄にマスタの種類を表示していますので、ダウンロードする内容をクリックして選択します。

「件数」欄が0（ゼロ）は処理結果の確認のため表示していますので、プルーフファイルのダウンロードはできません。

(4) [処理開始]ボタンをクリックします。

(XG02)CSV出力指示画面

出力ファイル名: /tmp/010RCBMIGTENSU-prf.csv

ファイル出力先: 1 クライアント保存

文字コード: 2 S-j i s

戻る OK

(5) プルーフファイルのダウンロード方法を指定して、[OK]ボタンをクリックします。

(XG99)処理結果

番号	処理名	開始時間	終了時間	件数	エラーメッセージ
0000001	点数マスタ	13.40.37	13.40.40	0	

F1:戻る F11:状態 処理は正常に終了しました



- (6) 保存確認画面が表示されますので、[保存]ボタンをクリックします。
保存するファイルの選択画面が表示されますので、ダウンロードする場所やファイル名を指定して保存します。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	Ver5.1 点数マスタ処理日	2019.03.07	1	医療法人 オルカモクリニック					
2	結果	診療コード	開始日	終了日	名称	内容	項目	オリジナル	ユーザ
3	ユーザー管理	160054710	20080401	20100331	CRP(定量)	項目値変更	上限回数1月	0	2
4	ユーザー管理	610443007	0	20020331	プロテカシン錠 10mg	項目値変更	漢字名称桁数	12	9
5	ユーザー管理	610443007	0	20020331	プロテカシン錠 10mg	項目値変更	漢字名称	プロテカシン錠 10mg	20180402
6	ユーザー管理	610443007	0	20020331	プロテカシン錠 10mg	項目値変更	カナ名称桁数	6	9
7	ユーザー管理	610443007	0	20020331	プロテカシン錠 10mg	項目値変更	カナ名称	プロテカシン	20180402
8	ユーザー管理	610443007	0	20020331	プロテカシン錠 10mg	項目値変更	点数識別	1	0
9	ユーザー管理	610443007	0	20020331	プロテカシン錠 10mg	項目値変更	単位名称桁数	1	0
10	ユーザー管理	610443007	0	20020331	プロテカシン錠 10mg	項目値変更	旧点数識別	1	0
11	ユーザー管理	610443007	0	20020331	プロテカシン錠 10mg	項目値変更	旧点数/金額	68	0
12	ユーザー管理	610443007	0	20020331	プロテカシン錠 10mg	項目値変更	薬剤区分	1	0
13	ユーザー管理	610443007	0	20020331	プロテカシン錠 10mg	項目値変更	薬価基準コード	2325006F2032	20180402
14	ユーザー管理	610443007	0	20020331	プロテカシン錠 10mg	項目値変更	商品名等関連	0	20180402
15	ユーザー管理	610443007	0	20020331	プロテカシン錠 10mg	項目値変更	変更年月日	20010725	20180402
16	ユーザー管理	610443007	0	20020331	プロテカシン錠 10mg	項目値変更	廃止年月日	99999999	20180402
17	期間不一致	611120087			プロチゾラム錠0.25[EMEC] 0.25mg	有効期間	有効期間	20120401	20160325
18	ユーザー管理	662640574	20020401	20040331	ロヒプノール錠1 1mg	有効期間	有効期間	20100401	20180402
19	ユーザー管理	662640574	20020401	20040331	トクダーム (0.45mg) 7.5cm×10cm	項目値変更	単位コード	0	0
20	ユーザー管理	700590000	0	99999999	内視鏡検査用フィルム	項目値変更	単位名称	枚	0
21	特定器材	700590000	0	99999999	万年筆型注入器用注射針(超微細型)	金額		1800	20020402
22	ユーザー管理	710010095	0	99999999	万年筆型注入器用注射針(超微細型)	項目値変更	単位コード		7
23	ユーザー管理	710010095	0	99999999	万年筆型注入器用注射針(超微細型)	項目値変更	単位名称桁数	0	1
24	ユーザー管理	710010095	0	99999999	万年筆型注入器用注射針(超微細型)	項目値変更	単位名称		20110523
25	ユーザー管理	739230000	0	20140331	酸素ボンベ・小型	項目値変更	単位名称	本	20110523
26						項目値変更	上限価格	1	0
27									20140324

- (7) プルーフファイルの内容を確認します。
ダウンロードしたプルーフファイルを EXCEL や LibreOffice Calc 等で開きます。
- (8) 例として点数マスタのプルーフファイルの内容です。
A 列 (結果)・・・大まかな結果の見出し
ユーザー管理・・・項目値の変更があるため該当のマスタコード全体をユーザー管理とします。
※プルーフに出力されたマスタコードはすべてユーザー管理です。
期間不一致・・・有効期間に相違がありユーザー管理とします。
特定器材・・・都道府県購入価格のマスタに金額を設定しています。

B 列 (診療コード)・・・点数マスタの診療行為コード
C 列 (開始日)・・・マスタの有効期間の開始日
D 列 (終了日)・・・マスタの有効期間の終了日
E 列 (名称)・・・マスタの漢字名称
F 列 (内容)・・・相違の見出し
G 列 (項目)・・・マスタの項目名
H 列 (オリジナル)・・・標準提供しているマスタの内容

I 列（ユーザ）・・ユーザーにより変更したマスタの内容

J 列（更新日）・・マスタの更新日（ユーザーが変更した日ではない）

5-2-2 方法②

月次統計業務より、ユーザーマスターのチェックリストを作成して確認が可能です。

月次統計

帳票番号 001 有効期間 00000000 ~ 99999999

帳票名 ユーザーマスタチェック処理

プログラム名 ORCBUMCP

前回入力されたパラメタを初期設定する ※日付は対象外です

帳票パラメタ	1	マスタ区分	N1	必須	任意
2	CSV出力	N1	必須	任意	
3			必須	任意	
4			必須	任意	
5			必須	任意	
6			必須	任意	
7			必須	任意	
8			必須	任意	
9			必須	任意	
10			必須	任意	

パラメタ説明

マスタ区分 1: 点数マスタ
2: チェックマスタ
3: 一般老人置換マスタ (医薬品経過措置)
4: 保険者マスタ
5: 住所マスタ

CSV出力 1: CSVデータを出します。

戻る クリア 削除 複写 登録

(1) 月次統計業務としてプログラムを登録します。

システム管理マスタで以下の方法で登録します。

- (1) 管理コードに 3002「統計帳票出力情報（月次）」を選択します。
- (2) 区分コードに登録する空き番号を入力します。
- (3) 有効年月日を空白のまま Enter キーを入力します。
“00000000” ~ “99999999”
- (4) 「確定」ボタンをクリックします。
- (5) 「複写」ボタンをクリックして”ユーザーマスタチェックリスト作成”を選択して
「確定」ボタンをクリックします。
- (6) 「登録」ボタンをクリックします。

(G01)月次統計 - 医療法人 オルカモクリニック [ormaster]

☒ ユーザーマスタチェックリスト作成 * 必須 * 任意

001	マスタ区分 * 3	CSV出力 * 1			
002					
003					
004					
005					
006					
007					
008					
009					
010					

戻る クリア 並び替え 統計データ 再印刷 前頁 次頁 個別指示 CSV出力 情報削除 **処理開始**

- (2) 月次統計業務画面から「ユーザーマスタチェックリスト作成」を選択します。
左側の登録番号をクリックします。

(G03)月次統計 - パラメータ説明

☒ ユーザーマスタチェックリスト作成 * 必須 * 任意

001 マスタ区分 * 3 CSV出力 * 1

ORCBUMCP

マスタ区分

- 1 : 点数マスタ
- 2 : チェックマスタ
- 3 : 一般老人置換マスタ (医薬品経過措置)
- 4 : 保険者マスタ
- 5 : 住所マスタ

CSV出力 1 : CSVデータを出力します。

メモ欄

戻る クリア 入力欄 メモ欄 確定

パラメータ説明

マスタ区分

- 1 : 点数マスタ
- 2 : チェックマスタ
- 3 : 一般老人置換マスタ (医薬品経過措置)
- 4 : 保険者マスタ
- 5 : 住所マスタ

CSV出力

1 : CSVデータを出力します。

(3) パラメタを指定して[確定]ボタンをクリックします。

(4) 元の画面に戻って[処理開始]ボタンをクリックします。

[illegible]

(5) 処理が終了したら、帳票が作成されます。

(XG01)CSV出力選択画面 - 医療法人 オルカモクリニック [ormaster]

番号	グループ	処理番号	連番	件数	診療年月	診療年月日	入外	処理タイトル	データ内容	未
1	20190312133955	0001	0001	234				月次統計	点数ユーザーマスタチェックリストCSV作成	未

選択番号

グループ

処理番号

連番

戻る

クリア

削除

情報削除

処理結果

処理開始

(6) CSV出力指示をした場合は、CSV ファイルとしてファイルへ出力も可能です。

(7) プルーフファイルの内容

F (フラグ) . . . ◇ : ユーザー作成マスタ

標準提供マスタではなく、ユーザーが作成したマスタである

★ : 標準提供マスタと同一内容

ユーザー管理マスタとして登録されているが、レコード自体は標準提供と同一内容である

※点数マスタはマスタコード単位にユーザー管理となる

空白 : レコード単位に比較して項目値に違いが含まれる

内容 項目の名称とその値

上段がユーザーが設定した値

下段が標準提供マスタの値

※ (空白) は、値が設定されていないことを表す

5-2-3 確認

各マスタのプルーフ内容を確認します。

- ・アップグレード前にユーザーによりマスタの変更を行った内容が、ユーザーマスタとして登録されていることを確認します。
- ・現在は使用することがなくても過去に変更したことによりユーザーマスタとなりますので、プルーフでマスタの有効期間がある場合はチェックします。
- ・点数マスタの特定器材で酸素等の購入価格を設定するものについては、有効期間と金額が正しく設定されていることを、点数マスタ登録画面より確認してください。また、診療行為でいくつかの期間を対象として、設定した金額に対し、正しい点数が算定されることを確認します。